

令和7年度 第1回 地方独立行政法人大月市立中央病院評価員会議事録

日 時 令和7年8月4日（月）10時00分から11時15分

場 所 地方独立行政法人大月市立中央病院 別館2階会議室

出席者〈評価委員〉

川村龍吉委員長(web参加) 小俣光文委員 白川恵子委員 松田政徳委員

蜂須賀所明副委員長（欠席 事前に意見をいただいた）

〈大月市中央病院〉

榎本理事長 山口院長 野中事務長 井上看護部長 山崎院長補佐 鈴木企画課長

槌屋健診センター課長 上條総務課長 名古屋情報課長 小俣総務課リーダー

〈事務局〉

小林市長 横瀬市民生活部長 藤本子育て健康課長 川部健康増進担当リーダー

健康増進担当酒井 健康増進担当奈良

1. 開会

司会：

開会に先立ちまして、お配りしました資料について、お伝えいたします。

- ・ 令和7年度第1回地方独立行政法人大月市立中央病院評価委員会次第
- ・ 〔会議資料1〕 令和6年度 業務実績報告書（法人の自己評価含む）
- ・ 〔回収用〕 令和6年度 業務実績報告書（法人の自己評価含む）
- ・ 〔会議資料2〕 項目別法人自己評価集計表結果一覧表
- ・ 〔決算資料1〕 比較表
- ・ 〔決算資料2〕 財務諸表等（財務諸表・監査報告書）
- ・ 〔決算資料3〕 財務諸表等（事業報告書）
- ・ 〔参考1〕 大月市立中央病院の年度評価実施要領
- ・ 〔参考2〕 大月市立中央病院に対する評価の基本方針

以上となります。

ただいまから、令和7年度 第1回 地方独立行政法人 大月市立中央病院
評価委員会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、大月市 市民生活部長の横瀬
です。よろしくお願いいたします。

本日は、会場とオンラインを併用したハイブリッド形式での開催となっております。

それでは、お手元の次第に沿って会議を進めてまいります。

なお、会議は１１時３０分頃の終了を予定しておりますので、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

司会： まず初めに、小林市長が挨拶します。

小林市長： 皆さま、こんにちは、大月市長の小林です。

本日は、令和７年度第１回地方独立行政法人大月市立中央病院評価委員会にご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日は、令和６年度事業実績につきまして、ご意見を伺うため、お集まりいただきました。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

さて、病院運営につきましては、令和５年度より第２期中期目標期間に入り、山梨大学との包括連携体制のもと、地域医療の充実に向けた取組を進めてまいりました。

令和６年度においては、地域包括医療病棟の新設や病床構成の見直し、健診事業の充実など、限られた医療資源の中でも成果を挙げていただきました。特に、常勤医師の確保やDMAT体制の強化や訓練への参加、へき地診療の継続などは、住民の命と健康を守る公立病院の責務を果たす、意義ある取組であったと受け止めております。

一方で、依然として看護職員の不足や病床稼働率の改善、経営の健全化といった課題も多く、引き続き病院と市が一体となって改善に取り組む必要があります。

本日、評価委員のみなさまには、多方面から、忌憚のないご意見、ご検討を賜り、今後もこの地域で市民から信頼される病院、さらに、健全な経営のもと、安全で、優れた医療を将来にわたって安定供給できる病院づくりへの糧としていきたいと考えております。ぜひ、お力添えをいただきたいと存じます。本日は、よろしくお願いいたします。

3. 理事長あいさつ

司会： 続きまして、大月市立中央病院榎本理事長よりご挨拶をお願いいたします。併せて病院の経営概要についての説明を１０分程度いたします。

画面または、先ほどお配りした資料をご覧ください。

榎本理事長： 今日はお忙しい中お集りいただきまして、評価委員のみなさま市の関係者のみなさま、誠にありがとうございます。病院の活動につきましては市長からご紹介いただき、取組と課題を話していただきました。評価についてはこの後議事の中で評価委員のみなさまに忌憚のないご意見ご指導あるいはご助言いただければと思います。昨年と若干変えまして、これから１０分間ほど経営概況について説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。

～ 地方独立行政法人大月市立中央病院経営概況
R6年度の総括とR7年度の取り組みを説明 ～

4. 出席者紹介

司会： 次に、評価委員を皆様のお手元にお配りいたしました、名簿順にご紹介させていただきます。

司会： 川村龍吉委員長

川村委員長： よろしくお願いいたします

司会： 小俣光文委員

小俣委員： よろしくお願いいたします

司会： 白川恵子委員

白川委員： よろしくお願いいたします

司会： 松田政徳委員

松田委員： よろしくお願いいたします

司会： 本日、蜂須賀所明副委員長はお仕事の都合により、欠席となります。

司会： 続きまして、大月市および地方独立行政法人大月市立中央病院の役員の紹介をさせていただきます。

大月市長 小林 信保 でございます。

大月市立中央病院 榎本 信幸 理事長 でございます。

山口 達也 理事 兼 院長 でございます。

野中 明彦 理事 兼 副院長・事務長 でございます。

井上 勝美 理事 兼 看護部長 でございます。

山崎 暁 院長補佐 でございます。

槌屋 孝一 健診センター課長 でございます。

上條 眞紀 総務課長 でございます。

名古屋 朋久 情報課長 でございます。

鈴木 計充 企画課長 でございます。

小俣 恵美子 医事課リーダー でございます。

大月市役所 子育て健康課 藤本 典久 課長 でございます。

子育て健康課 健康増進担当 川部 好美 リーダー でございます。

同じく 健康増進担当 酒井 莉菜 でございます。

同じく 健康増進担当 奈良 有由美 でございます。

以上で紹介を終わります。

5. 議事

司会： それでは、議事に移りたいと思いますが、当評価委員会条例第5条第1項の規定により、委員長が議長を務めることとなっております。川村委員長に議長をお願いいたします。川村委員長からご挨拶をいただきたいと思います。

川村委員長よろしくをお願いいたします。

委員長： 山梨大学の川村です。本日はweb参加で申し訳ございません。先ほど榎本理事長から大月市立病院の素晴らしい取り組みを拝聴いたしまして大変勉強になりました。私の大学は非常に厳しい状態で他の病院を評価するような病院ではないのですが本日は、業務成績の評価の議長をさせていただきます。よろしくお願いします。それでは議事に入りたいと思います。

本日の議事は、令和6年度の事業年度に係る業務実績の評価の1件となっております。本日は、令和6年度の業務実績を評価するため、病院事務局の説明を受

け、委員の皆さまからのご質問やご意見などをいただきながら、審議を進めていきたいと思えます。

それでは、スムーズに議事が進むよう、皆様のご協力をお願いいたします。

まず、議題の1番「令和6年度 事業年度に係る業務実績報告書について」です。

病院事務局からはじめに決算及び報告書の概要について簡潔に説明をお願いします。

鈴木課長： 病院事務局の鈴木です。理事長から経営状況については説明がありましたので、本日前年度との比較表等を用意しましたが、一読いただいてご理解いただければと思えます。概要については省略させていただきます。よろしくお願いいたします。

議長： それでは、ご質問などがあればお受けいたします。いかがでしょうか。
よろしいでしょうか。項目別の年度評価に移りたいと思えます。事務局から説明をお願いします。

藤本課長： それでは、〔会議資料1〕令和6年度 事業年度に係る業務実績報告書（法人の自己評価含む）の4ページからの、「項目別の状況」についての評価に入りたいと思えます。

大項目が5つ、小項目が24に分かれています。それを4つに分けて評価を進めて行きます。分け方は小項目にしてひとつ目を1～7、二つ目を8～16、三つ目を17～21、四つ目を22～24といたします。

まず、病院から説明していただき、そのあと質問などをお受けし、評価委員会としての評価をいただくという流れでお願いいたします。

委員のみなさまには、事前に資料を送付させていただいておりますので、表の右側の「法人の自己評価」の内容を元に、評価の変更や特記するコメントなどがありましたら、ご発言をお願いいたします。

本日欠席されております蜂須賀副委員長のご意見がございましたら私の方から伝えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議長： それでは、事務局より提案のありましたとおり、項目ごとに順次評価を進めていきますのでよろしくお願いいたします。

はじめに、〔会議資料Ⅰ〕の４ページの「大項目Ⅰ 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の小項目ⅠからⅦまでについて、病院事務局から説明をお願いします。

鈴木課長： それでは病院から説明させていただきます。
～ 〔会議資料Ⅰ〕 小項目Ⅰ～Ⅶの説明 ～

議長： ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問はありますでしょうか。
次に、評価を行います。病院の自己評価からの変更箇所やご意見など、ありましたらお願いします。

藤本課長： 事務局から、本日欠席されています蜂須賀副委員長よりコメントをいただいています。小項目Ⅱの救急応需率につきまして、蜂須賀先生は「本日の当直は電話等の応対で整形外科なので感染症の患者は医師会当番で診るよにという電話応対があった」という報告を受けていまして、その報告に伴いこの評価について４ではなく３という副委員長の評価がされています。

議長： ありがとうございました。評価は３ということですが、他にご意見ありますか。
では評価３ということで、他に何かご意見ありましたらお願いいたします。
ないようですので次に小項目Ⅷ～ⅱについて説明を病院事務局からお願いいたします。

鈴木課長： ～ 〔会議資料Ⅰ〕 小項目Ⅷ～ⅱ説明 ～

議長： ありがとうございました。ただ今、Ⅷからⅱまでのご説明について、ご質問などありますでしょうか。

松田委員： いくつか質問させていただきます。小項目Ⅸのところの紹介率、逆紹介率の目標が令和４年と令和６年とありますが、この目標が少数点一桁まで出ているということは何らかの数式や、計算式で出していると思います。普通に目標であれば３０％とか２０％でいいと思うのですが、何故端数になっているのですか。

鈴木課長： もともと実績が小数点以下で出していて、数パーセントずつの増加という目標で当初組み立てたところから小数点がついた目標数値となっています。

松田委員： ありがとうございます。それと去年も質問させていただいたかと思いますが、小項目１３でリスクマネージャーを配置して取り組んでいるとのことですが、実際にインシデントレポートの件数と、０事例報告が何件ぐらいあったかと、３Ｂ以上の事例がどのぐらいあったかを差し支えなければ教えていただきたい。

鈴木課長： 今、手元に資料がありませんので改めて市役所事務局を經由して、情報提供させていただければと思います。（別紙評価委員会での質問事項の回答参照）

松田委員： ありがとうございます。それと、小項目１４でカルテ開示の対応を行っているかの重要な項目ですが、カルテ開示件数は年間どのぐらいあったのでしょうか。

野中事務長： はっきりした件数を持っていないのですが、大体５～６件ぐらいあったかと思っています。

議長： その他なにかご質問ありますでしょうか。

白川委員： 小項目１２ですが、大月市はこどもまんなかで考えていくことを７０周年からいろいろな政策を実行していると思いますが、この項目が３で、小児科は充実している報告でしたが、ボランティアとかの受け入れがなぜできなかったのかなと、大きな市の考え方として、こども中心と考えたときになんで遅れてしまったのかしらとそのあたりの理由がありましたらお聞きしたいし、今後どのように考えているのかもお聞きしたいと思います。

榎本理事長： こどもまんなかに関しましては県内の小児科医不足から、一時外来を開けない状況になり、市長様ともご相談していろいろな大学を訪問したり、あるいは山梨大学も含めて努力して市長にご尽力いただいて毎日外来を開設することはできていますが、午前中だけとかまだ改善の余地があることが考え方かなと思います。また、患者のアメニティに関しても努力はしているのですが、まだまだ一般の医療機関と比べると患者さんの待ち時間とか、呼び出しであるとか、いまご指摘いただいたボランティアの方へご協力いただくとか、そういった取り組みについて

まだ、不十分なところがあるため、3という評価にさせていただきました。ご指導よろしくお願いします。

議長： ありがとうございました。他にご質問ありますでしょうか。
 では評価の方に移りたいと思います。病院の自己評価から変更箇所やご意見がありましたらお願いします。

藤本課長： 事務局から1件お願いいたします。蜂須賀副委員長からのコメントでございます。小項目12ですが、患者の利便向上、小児科の、先ほどの白川委員からのお話もありましたけれども、月曜から金曜までの診療体制にできたことに対しまして、ご評価をいただきまして、蜂須賀副委員長の評価は3から4という評価になっております。よろしくお願いします。

議長： ありがとうございました。その他変更はありませんか。
 それでは小項目12が3から4になるということで、これに対して意見がありましたらお願いします。よろしいでしょうかありがとうございました。
 次に、大項目2に移りたいと思います。「大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」と「大項目3 財務内容の改善に関する事項」小項目17から21までの項目についての説明を病院事務局からお願いします。

鈴木課長： ～ 〔会議資料1〕 小項目17～22説明 ～

議長： ありがとうございました。ただ今の説明に関しましてご質問ありますでしょうか。

小俣委員： 教えていただきたいのですが、将来的に補助金からの脱却経営と、補助金が市から運営費負担金が減るのはそういう予定となっていると思うのですが、昨年度に比べて経費が増えたにもかかわらず市の運営負担金が減っている理由と、その算定根拠がありましたら教えていただきたい。

鈴木課長： 中期計画を令和5年度から令和8年度までの4年間の計画を立てさせていただきました。その中で運営費交付金・負担金につきまして、最初の第1期の4年間で20数億円あったものを、少し抑制しながら4年間で20億円ちょっとという

数字を目標として４年間数字を確定していましたので、費用が増えていますが、運営費交付金が減っている結果になっています。

議長： ありがとうございました。その他ご質問ありますでしょうか。

松田委員： 自分のこととして聞かせてもらおうのですが、小項目１７のところで、各診療科の経営分析の経過等を説明して、病院の運営に協力してほしいということで、取り組みが行われているということで素晴らしいなと思うのですが、私の方でも毎月経営企画会議を実施したり、院内会議を毎月行い各科の診療科の先生方に話していたりしているのですが、そこで言われているのは数字を出されて見ても我々は何をやればいいのか、その数字を並べて言っても各科の先生こんなに努力しているのにこれに加えて何をすればいいのかという質問が多く、私は独自に各診療科別のうち（の病院）はＤＰＣ（診断群分類別包括評価支払制度）の標準病院のため、同一規模の病院が全国で大体８０ぐらいあるのですが、その中で、診療科がどのような医療をやっているかを自分の各診療科と比較することによって、一般の例えば糖尿病内科に比べて患者数は同じぐらいですが、外来患者数が少ないといった説明ができます。医者が動かないと後は全然どうにもならないので、医者が動いて初めて全体が動くという診療報酬体系になっていますので、医者が意識改革しないと、他のスタッフがいくら努力してもならないという仕組みになっております。まず医師の意識を変えることが重要だと思って当院ではそのような形で行っています。去年一か月かけて各科の先生全員に面談して一人一時間ずつ、こういうことをもう少ししてくださいということを行うのですが、大月市立中央病院ではどのような経営分析を行っていますでしょうか。

榎本理事長： 松田先生ありがとうございます。ベンチマークが基本で、同規模病院、同じ病院でどうなっているかというのは基本だと思います。参考になればというのは、昨年度前半の大幅な落ち込みは整形外科と透析で起こったのですが、それは何故起こったのかを分析しまして、整形外科は医療体制の変化によって救急患者をお断りする機会が多くなったことがわかりましたので、限られた中でも整形外科の患者を診るようにしましょうと医局の皆先生方で話し合って工夫いただいて、救急外来の看護師に協力したり、放射線科の技師にも協力したりして、受けられるようにしましょうと、原因をはっきりさせて対応することで、透析患者も大月市内で透析を必要とされている患者さんを全員受けられていないのではないかが分

かりました。近くに通っていただくのが患者のためであり、調べたところ患者の生活の問題等があったので、市役所にご協力いただいて、患者の生活のサポートを整えて、大月の病院に来ることとなりました。あまり参考にならないかもしれませんが、原因をみんなで考えていくことを行っております。

山崎院長補佐： すみません今の追加で発言させてもらってもいいですか。

議長： どうぞ

山崎院長補佐： 院長補佐の山崎です。松田先生のご質問に対して、富士吉田市立病院に比べて、うちの病院は非常勤の外来の先生が多くいます。当院では節度を持ったお願いをする点で、非常勤比率が高い病院の特色が出ているのではないかということと、院長補佐という立場で週1回月曜日に常勤医師を集めて診療部会議を行っていきまして、ほぼ必ず榎本理事長も山口院長も参加されており、直接常勤医師とはコンタクトをとれていると私は感じております。

松田委員： ありがとうございます。

議長： ありがとうございます。

病院経営はどの病院も大変で、松田先生のご質問も病院で悩んでいると思うのですが、手術に関しては大学では増やすことをしてきたのですが、最近は逆に減らせという大学病院が出てきていて、これは刻々とその状況が異なっているということがあります。救急に関しても県立中央病院が大幅に救急車を増やす、救急体制を拡充する方針が出ていますが、大学病院としては救急に力を入れることは患者の奪い合いになるので、病院間の協議が求められるということが先ほどの榎本先生の話聞いて強く思いました。透析に関しましても、大学では透析患者が4分の1に減っております。この5年間くらいで、クリニックでできるようになったとか、地域で透析のフィールドの各クリニックと大学との関係とか、そういう病院間の連携が今ないので、行ったほうがいいということを先ほどの松田先生のご質問と榎本先生のお話を聞いて強く思っているところでございます。ありがとうございます。

その他ご質問ありますでしょうか。

では評価の変更等ございましたらお願いいたします。

藤本課長： 事務局から１件あります。蜂須賀院長からです。小項目１９、経営基盤について、年度計画に対して計上収支比率、医療収支比率、修正医療比率の未達の状況から、蜂須賀副委員長の評価については３から２という評価になっています。

議長： ありがとうございました。なかなか厳しい評価で２に変更されたということがあります。何かご意見ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは次の評価に移りたいと思います。

大項目４その他業務運営に関する小項目２２から２４について説明をお願いいたします。

鈴木課長： ～ 〔会議資料１〕 小項目２２～２４説明 ～

議長： ありがとうございました。それでは、こちらのご説明について何か質問ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。質問がないようですので、評価に移りたいと思います。自己評価からの変更箇所がありましたらお願いいたします。

ないようですので、この項目についてはよろしいでしょうか

次に、「第５ 予算」から最後の「第１０ 地方独立行政法人大月市立中央病院の業務運営に関する規則で定める業務運営に関する事項」まで病院事務局お願いします。

鈴木課長： はい、それでは概要だけ説明させていただきます。

～第５から第１０について説明～

議長： ご質問ありますでしょうか。

松田委員： 教えていただきたいのですが、看護師の負担軽減は大事で、現在働いている看護師が負担過剰で辞めることは絶対避けなければならないことだと思うのですが、看護補助者の採用がうたわれていますが、これは民間を利用して行われているのでしょうか、それとも独自に募集されているのでしょうか。何かいい方法がありましたら参考にさせていただきたいと思いますのでぜひ教えてください。

井上理事： 看護補助者は厳しい状況でいます。高齢化率45%近くなっていることは、働く世代が少ないということでもあります。現在やっているのは時間を短く働ける方の採用を積極的にしているのですが、厳しいので現在はホームページや個別対応ですが、今後は外国人を含め、視野に入れながらやっていかなければいけないということを現在話し合っているところでございます。

松田委員： ありがとうございます。

議長： ありがとうございました。その他何かご質問ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。ないようでしたら令和6年度の事業年度に係る業務実績報告書の評価について追加することがありましたらお願いします。
追加等ないようですので、事務局から何か意見ありますでしょうか。

藤本課長： ただいま、委員の皆様にも令和6年度事業年度に係る評価をいただきました。
審議の結果大項目1小項目2の自己評価を4から3に、
大項目1小項目12の自己評価を3から4に、
大項目3小項目19の自己評価を3から2に変更いたしました。その他の項目は病院の自己評価のとおりという結果をいただきました。
お手元に配布の、〔会議資料2〕項目別法人自己評価集計表結果一覧表が病院の自己評価を取りまとめたものになりますが、本日の評価委員会での結果と、ご意見などを反映したうえで修正させていただき、次回の評価委員会に「令和6年度の業務実績の評価(案)」として、ご提案させていただく予定といたします。

議長： ありがとうございました。それでは事務局から説明がありましたとおり、令和6年度の評価につきましては以上といたします。
事務局では次回の評価委員会に向けて今回の評価の取りまとめをお願いいたします。
続きまして議題の2番目その他ですが、皆様から何かありますでしょうか。
無いようでしたら事務局からお願いします。

藤本課長： 今後の会議の進め方についてご提案させていただきます。

第2回の評価委員会は事務局案としては、昨年と同様に、対面での会議ではなく、書面審議での開催にしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうか、では、昨年同様に書面審議での開催とさせていただきます。スケジュールといたしましては、9月上旬に第2回の評価委員会資料を送付し、評価委員の皆様には意見書を返送していただき、評価内容を決定したいと考えております。

また、今回の委員会で追加の意見などがありましたら、本日から1週間を目途にご意見などをメールや電話でお伝えをお願いします。

委員会の意見などを取りまとめた上で、追加事項等を含めた評価案を次回の会議資料として郵送いたしますので再度、内容の確認をお願いいたします。

その後は、10月の市議会の議員定例懇談会で、委員会での評価内容を報告したうえで、市のホームページや広報誌で市民の皆さまにこちらの評価委員会の内容をお知らせする予定としています。

議長： それでは、第2回の評価委員会は、書面審議とすることでお願いたします。
よろしければ、以上を持ちまして、議事を終了させていただきます。
皆さま、ご協力ありがとうございました。

司会： 川村委員長におかれましては、大変ありがとうございました。
委員の皆さまにも慎重なご審議をいただきましてありがとうございました。
以上をもちまして令和7年度 第1回 地方独立行政法人 大月市立中央病院 評価委員会を終了いたします。事前に評価やコメント等をご記入いただきました回収用の書類は回収させていただきますので机の上に置いてお帰りくださいますようお願いいたします。
本日は、ご多忙の中、慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。
お気をつけてお帰りください。